



積雪や凍結による

転倒災害を防ぎましょう

1

気象情報の活用による リスク低減の実施

- 大雪、低温に関する気象情報を迅速に把握する体制の構築
- 警報・注意報発令時等の対応マニュアルの作成、関係者への周知
- 気象状況に応じた出張、作業計画等の見直し

2

通路、作業場所の凍結等 による危険防止の徹底

- 屋外通路や駐車場における除雪、融雪剤の散布による安全通路の確保
- 事務所への入室時における靴裏の雪、水分の除去、凍結のおそれのある屋内の通路、作業場への温風機の設置等による凍結防止策の実施
- 屋外通路や駐車場における転倒災害のリスクに応じた「危険マップ」の作成、関係者への周知
- 凍結した路面、除雪機械通過後の路面等における荷物の運搬方法、作業方法の見直し
- 凍結した路面や凍結のおそれがある場所（屋外通路や駐車場等）における転倒防止のための滑りにくい靴の着用
の勧奨

3

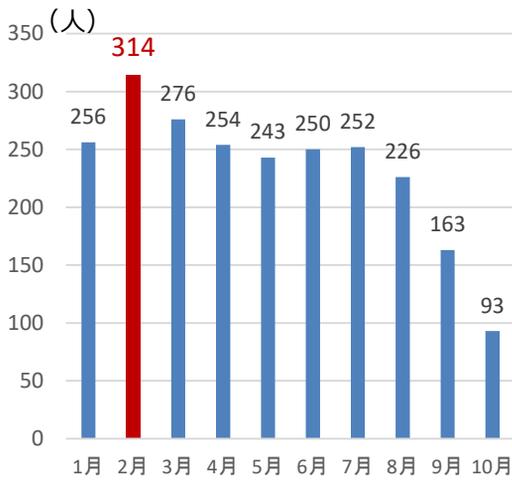
働く高齢者の特性に配慮 した転倒災害防止対策

- エイジフレンドリーガイドラインに基づき、働く高齢者の特性に配慮した対策を実施

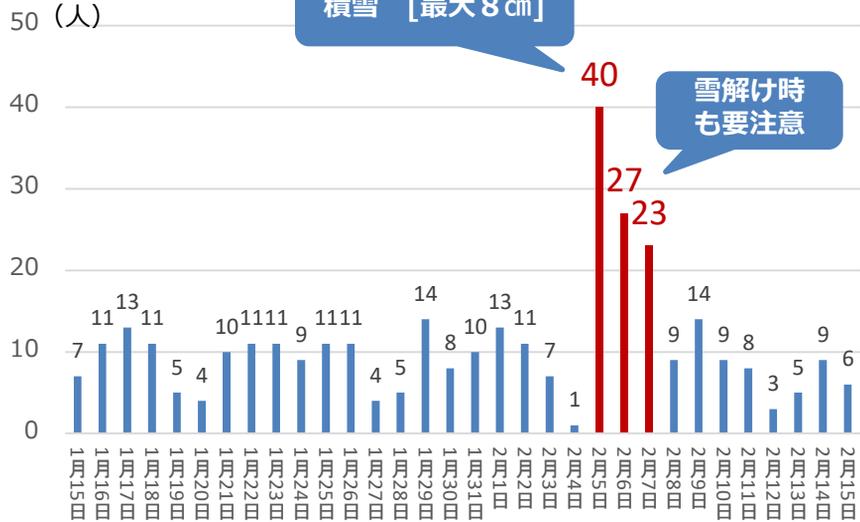


都内の積雪・凍結による転倒災害の発生状況

□ 令和6年2月5日から6日にかけて関東甲信地方の広い範囲で大雪となり、東京都（千代田区北の丸公園）で積雪8cmを記録し、**積雪・凍結**が原因と思われる**転倒災害が大幅に増加**しました。



令和6年 月別転倒災害発生状況
(東京、休業4日以上)



令和6年(1月～2月) 日別転倒災害発生状況
(東京、休業4日以上)

出典：労働者死傷病報告（東京、休業4日以上、10月末日現在）

- 令和6年（10月末日現在）の転倒災害は、**2月が最も多く、積雪のあった2月5日は1年で最も多い日**に、次いで**2月6日、2月7日**の順に多くなっています。
- **雪が解け始めたら、路面凍結の可能性が高く、屋外の移動・作業は、特に注意が必要です。**

エイジフレンドリーガイドライン



□ 働く高齢者の特性に配慮した安全な職場を目指しましょう

1 安全衛生管理体制の確立

- ・経営トップによる方針表明と体制整備
- ・高齢労働者の労働災害防止のためのリスクアセスメントの実施

2 職場環境の改善

- ・身体機能の低下を補う設備・装置の導入（主としてハード面の対策）
- ・高齢労働者の特性を考慮した作業管理（主としてソフト面の対策）

3 高齢労働者の健康や体力の状況の把握

- ・健康状況の把握
- ・体力の状況の把握

4 高齢労働者の健康や体力の状況に応じた対応

- ・個々の高齢労働者の健康や体力の状況を踏まえた対応
- ・心身両面にわたる健康保持増進措置

5 安全衛生教育

- ・高齢労働者、管理監督者等に対する教育



転びの予防 体力チェック



□ コチェック



転倒等リスク評価セルフチェック票



その他の転倒災害防止対策

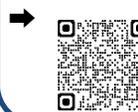
労働者の転倒災害（業務中の転倒による重傷）を防止しましょう

「基本」版 「中高年齢の女性を中心に」版



転倒や怪我をしにくい身体づくり

いきいき健康体操



目のセルフチェックと眼科検診の受診



東京労働局公式

こちらから
フォローして
ください！



東京労働局 労働基準監督署

～トップが発信！ みんなで宣言 一人一人が「安全・安心」～